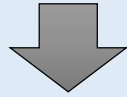
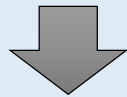


## 爆発的な火災に対する自衛消防訓練シナリオ（例）

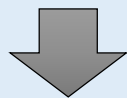
①店舗出入口付近で、小瓶に入った可燃性の液体をまき散らし火をつけて火災になっている。



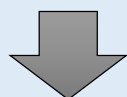
②同時に付近の従業員は客に対して避難するよう声を出す。  
可能な限り従業員に避難誘導するよう促す。



③防災センターから放送設備を使い、客及び従業員に対し、ただちに避難するよう伝える（外国人対応を含む）。  
放送する際には、避難手段・避難場所等の情報を確実に伝える。



④客及び従業員は、火元とは逆の避難経路から屋外（バルコニー等）や防火区画された一時避難場所に避難する。  
避難した人員及び負傷状況を確認する。



⑤119番通報は、防災センターからか屋外等に避難した人から行う。